

リニア中央新幹線建設促進三重県・奈良県経済団体連合協議会平成25年度総会
及び
第3回三重県・奈良県リニア中央新幹線建設促進会議を同時開催

～東京・大阪間全線同時開業、三重県・奈良県に中間駅設置などを促進～

平成25年8月5日（月）ホテルグリーンパーク津（津市）にて、リニア中央新幹線建設促進三重県・奈良県経済団体連合協議会（会長：竹林武一）平成25年度総会を開催いたしました。

当日は、鈴木英敬三重県知事、荒井正吾奈良県知事、島田佳和衆議院議員、長田三重県議会議員など多数ご臨席賜り、三重県、奈良県の経済団体、約130名にご出席いただきました。

総会では、平成24年度事業報告並びに収支決算、平成25年度事業計画並びに収支予算の承認が行われ、本年6月に当連合協議会が調査し発表した「リニア中央新幹線全線同時開業による経済波及効果分析調査」について井ノ口三重県商工会議所連合会専務理事より報告いたしました。

また、総会決議では、1. 東京・大阪間の全線同時開業のための具体策を早急に検討し、方策を示すこと。2. 今後の地域デザインを具現化するため、中間駅を早期に確定すること。3. 名古屋・大阪間においても、環境影響評価の手続きに早期に着手すること。3項目について岩佐亀山商工会議所会頭より発表され決議を行いました。

終了後には、当連合協議会とリニア中央新幹線建設促進三重県期成同盟会およびリニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会との共催により第3回三重県・奈良県リニア中央新幹線建設促進会議を開催し、鈴木英敬三重県知事や荒井正吾奈良県知事はじめ行政と経済団体の代表約250名にご出席いただきました。

会議では、竹林武一リニア中央新幹線建設促進三重県・奈良県経済団体連合協議会長（三重県商工会議所連合会長）が、東京、大阪間の同時開業、リダンダンシーの観点から三重・奈良ルートの決定、紀伊半島全体へ便益が拡がるような交通結節点の高い位置への中間駅設置などについて共同アピールを行い、全会一致で採択しました。また、日本大学経済学部 教授 加藤一誠氏より「リニア中央新幹線の全線同時開業と地域づくり」をテーマにご講演いただきました。



竹林会長の挨拶



岩佐亀山商工会議所会頭の総会決議